

情報政策分野における意見

資料 2 - 1

意見		区の方考え方
1	ICT活用により、定型的な業務を自動化するという視点も必要である。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。
2	インターネット活用に関して、インスタグラム、フェイスブック、グーグルなどのツールは地域限定で広告配信ができるため、そのようなSNSを活用して若い世代へ周知を行うことも有効ではないか。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。
3	ICTを活用すれば効率的で低コストかもしれないが、コンピューターを使えない情報弱者、高齢者等への対応もお願いしたい。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。
4	5の新たな政策課題について、ネットリテラシー教育も重要な視点となるため追加してほしい。	今後、施策を展開していくに当たっては、いただいたご意見を踏まえて、対応を検討していきます。
5	高齢者に対しては紙媒体をという意見に賛成である。行政側が区民へ情報発信するというだけでなく、極力同じ立ち位置で、双方向で考えていくことが重要だと思うため、視点として位置づけていただきたい。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。
6	4の戦略的情報発信の目標「②『伝わる』手法で情報発信し、区民と『つながる』環境をつくる」については、他の委員と同じ視点から新しい計画にも残してほしい。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。
7	区民同士のつながりや、それを支えるプラットフォーム的なものをつくる等の視点も、今後の基本構想に入れていくべきだと思う。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。
8	障害者の情報バリアフリーについては、東京大学先端科学技術研究センターが新しいシステムを取り入れて、重い障害を持つ方のコミュニケーションのノウハウを蓄積している。最先端の研究を目黒にも根づかせるような連携をしていくのが現実的だと思う。高齢者などの通信機器を使えない方を支援するシステムを先端研などの協力を得てつくれば、区の大きな発展につながると思う。	今後の施策展開に当たって、どのような連携が考えられるかも含めて考えていきます。
9	ホームページは消えていく情報も多い。有益な情報は蓄積し、例えば「くらしのガイド」を充実させるなど、利便性を高めることができないか。	情報提供のあり方も含め、区民の方が活用しやすいように充実に努めていきます。

意見		区の方考え方
10	産業界のイノベーションは、想像をはるかに超えるスピードで進展していくことが見込まれるため、長期計画で情報政策分野においてAIをはじめ今現在の先端技術を用いた政策を記述しても意味が薄いように思う。本計画では”新しい技術を積極的に区政運営に用いていく”などというように理念的な内容にとどめた上で、より頻繁に改定する情報化推進計画において、具体的な施策の中身に触れるという線引きを図るべきではないか。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。
11	日進月歩の情報分野においては、民間活用の視点も盛り込むべきではないか。	今後、中間答申等を取りまとめていくに当たっては、ご意見を踏まえて、記載内容、表現等を検討します。
12	ICTの活用は、防災でも取り上げるべきではないか。また、学校のICT環境整備はどうするのか。	ご意見のとおり、ICTの活用は様々な行政分野の中で共通する課題ととらえており、新たな基本構想及び基本計画においては全般的な課題として記載していくべきだと考えます。